



# 小 論 文

(120分)

## 人 間 文 化 学 部

地域文化学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

### 注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は3学科共通です。
3. 問題は2題で、6ページあります。
4. 解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがあります。
6. 解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

**問題 1** 次の文章は、五味太郎著『じょうぶな頭とかしこい体になるために』の一部である。これを読んで、後の問い(問1, 2)に答えよ。

五味太郎『じょうぶな頭とかしこい体になるために』（プロンズ新社，1991年）より一部改変

問 1 下線部①「仕事とはこんなものだろうと思います。仕事をするということはこういうことだろうと思います」とあるが，どういうことか，簡潔に説明しなさい。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。

問 2 筆者は下線部②のように主張している。これを批評しつつ，「仕事」と「勉強」の関係について，論じなさい。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。

**問題 2** 次の文章は、奥野克巳著『ありがとうもごめんなさいもいらない森の民と暮らして人類学者が考えたこと』の一部である。これを読んで、後の問い(問1, 2)に答えよ。



奥野克巳著『ありがとうもごめんなさいもいない森の民と暮らして人類学者が考えたこと』(亜紀書房, 2018年)を一部改変

(注1) フィールドワーク…ここでは文化の異なる社会に長期間住み込み、人々とその文化を現場の実態に即して調査研究すること。筆者は文化人類学者で、マレーシアサラワク州に位置するプナンの村落に住み込んで調査を行なっている。

(注2) 参与観察…社会調査の方法の一つで、調査者自身が調査対象である社会や集団に加わり、長期にわたって生活を共にしながら観察し資料を収集する方法のこと。

(注3) プナン…プナンは熱帯のボルネオ島(マレーシア、インドネシア、ブルネイの3つの国にまたがる)に暮らす、狩猟採集民もしくは元・狩猟採集民である。狩猟採集は、人類が農耕、牧畜を始める新石器時代以前の主要な生業であった。

(注4) ヒゲイノシシ…ヒゲイノシシはボルネオ島全域に生息する雑食性の動物で、下顎にヒゲが生えている。体長は1～1.5 m、体重60～100 kgになる。プナンのほか、ボルネオ島の他の先住民にとって主要なタンパク源であった。

**問 1** 日本社会ではしばしば反省がなされる。プナン社会と対比させながら、日本社会において反省がなされる意味を論じなさい。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。

**問 2** 下線部にあるように筆者が「うらやましい」と考えた理由について、あなたはどのように考えますか。日本社会における反省と関連づけて論じなさい。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。